福竜丸だより

―都立・第五福竜丸展示館ニュース―

（財）第五福竜丸平和協会

〒136　東京都江東区夢の島3－2
都立・第五福竜丸展示館内
電話（521）8494

'82年1月来館者数	4,650名
通算1カ月平均来館者数	3,913名
当月1日平均来館者数	194名
通算来館者数	**262,229名**

三・一ビキニ事件記念日を軍縮・核廃絶のたたかいの新たなジャンプ台にしよう

三・一をめぐる厳しい情勢

去る一月二十八日、米海軍で「原潜の父」と尊敬されているリコーバー提督が、米両院経済合同委員会での証言で、「われわれは軍備に金を使いすぎる。」と米国の過剰武装をきびしく批判しています。

この良心的な武将に拍手を送る前に、こういう人びとまでがレーガン米大統領のひきいる米政府の「ソ連の脅威」を口実とする「狂気のさたの軍拡」に強く抗議しなければならない事態の重大さに胸を打たれます。

危険な日本の軍拡

米国の強硬な軍拡政策に日本の政府は手放しで追随し、福祉予算の圧縮と戦後最高の軍事費の支出をはかり、日本全体をふたたび戦争への道に駆り立てています。

その戦争は核戦争であり、日本国民は、その戦争で相手の核兵器の攻撃の吸収地帯と想定されています。

広島・長崎とビキニの惨禍をふたたび繰り返す悪夢に日本国民はうなされています。

国民は反撃を開始した

第二回国連軍縮特別総会に核兵器完全禁止と軍縮を要請する「国民運動推進連絡会議」は、すでに三千万名の国民署名を提唱し、平和協会でも積極的に署名に取り組んでいます。また、静岡では三・一ビキニ記念集会が予定され、広島でも三月二十一日に大集会が行れることとなり、すでに現地実行委員会が発足しています。

そのほか、婦人団体が三月八日の国際婦人デーを中心に、核兵器廃絶運動に立ちあがり、最近では民主団体が次ぎ次ぎに行動を起し、青年の動きも活発となり、従来の社会党、共産党、総評などの動きと共に戦線は拡大されています。

三・一ビキニ記念日の行動

ことしの三・一ビキニ事件二八周年記念日を迎えるに当って平和協会は、この日が全国各地の組織・未組織を問わず幅ひろい地域、学園、職場の人びとによって、署名運動であれ、学習会であれ、その他の形での集会によって記念されることを願って止みません。

平和協会も別項のとおり三月二日夜、記念集会を東京・国鉄労働会館でひらきます。この集会にひとりでも多くの人びとが参加されることが望ましいのですが、全国各地でも創意あるたたかいが組まれることを期待し、パネル、スライドなどの提供その他、奉仕することを決意しています。また、二月二七日から三月七日まで展示館で記念写真展も行われます。

原水爆資料室開設の募金すすむ

ずくり重い硬貨の束や心こもる手紙を

館内の受付のわきに資料室開設への募金箱と数種の絵はがきが置かれています。福竜丸のスタンプの押されたその絵はがきは募金に協力して下さった人へのお礼です。募金箱には一月二二日現在で、四九、四七〇円集まりました。ほとんどが一〇円、五〇円、一〇〇円玉で、そのずっしりとした重みは特別うれしいものです。

同様のカンパを本多喜美さんからもいただきました。本多さんが通われた青山師範付属小学校の大正十四年卒業生女子組は毎年一回、被爆者の人たちの援護のために一年間集めた小銭をもちより、クラス会（青和会）を開いているそうですが、昨年は特別に一万円を資料室開設にと下さいました。

本田さんご自身も、福竜丸のために何か役立てられるだろうと、保存運動時代から小銭を集められ、今回青和会のみなさんの分と合わせ、二七、八七八円を寄付してくださいました。

久保山愛吉さんの無線学校時代の同級生、永久勝治さんより「少々ですが、何かのお役に立ててくださいませ」と。また、ビキニ事件当時清瀬病院に入院中の身で「原水爆禁止要請文」を国連総長や各国首相に送るなど積極的な行動をされた遠山公人、堀内中八さんからも、それぞれに深い感慨をこめて送られてきました。

◇原水爆資料室募金

（82・1・22現在）

総額　一、四五九、七七四円

氏名（前号報告以降・敬称略）

小笠原英三郎、広島YMCA、本多喜美、佐久間澄、新日本婦人の会、近江幸正、白井正、塩田庄兵衛、菊池渙治、影山三郎、長谷川和美、川崎健、香川信太郎、日本青年団協議会、群集の渦、田久保孝子、井口東、原田亮、畑敏雄、能登節雄、塩川孝信、ヒロシマを考える小さな集まり、外山雄三、高井義季、石井謙治、広田重道・ヨシ、永沼勝治、遠山公人、横井亀夫、梅田欽治、森下一徹、裏辻敦子、堀内中八。

〝沈めてよいか第五福竜丸〟の武藤宏一氏逝去

一月二四日、かつて朝日新聞に〝沈めてよいか第五福竜丸〟の投書をされた武藤宏一氏がガンのため逝去されました。四〇才の若さでした。平和協会では三宅会長が弔電を送ったほか一月二七日の告別式に広田専務理事が弔問しました。投書を再録し氏をしのぶこととします。

…第五福竜丸。それは私たち日本人にとって忘れることのできない船。決して忘れてはならないあかし。知らない人には心から告げよう。忘れかけている人にはそっと思い起させよう。いまから十四年前の三月一日、太平洋のビキニ環礁。そこで何が起きたのかを。沈痛な気持で告げよう。いまこのあかしがどこにあるかを…。忘れかけている私たちのあかしを取りもどそう。原爆ドームを守った私たちの力でこの船を守ろう。いま、すぐに私たちは語り合おう。このあかしを保存する方法を。平和を願う私たちの心を一つにするきっかけとして。武藤宏一　会社員（26才）。（一九六八年三月十日、朝日新聞〝声〟より）

武藤さんのご冥福を祈ります。

ノー・モア・ビキニの凧高く

賞品をどっさり—第10回新春凧あげ大会

夢の島の新年会でもある第10回新春凧あげ大会が、成人の日の一月十五日、第五福竜丸前広場でひらかれ、約二百人の子どもたち、お父さん、お母さんが参加しました。

ぽかぽか陽気の好天に恵まれ、ひろびろとしたグランドいっぱいに走り廻る子どもたち、力をあわせて作った連凧をひとつひとつもって、あげるのにけんめいの小学生、ゆう然と芝生に座りこんで凧を見あげるお父さん——みんな新春の楽しいひとときを過しました。

よびものの凧のコンクールには約百人が参加。たまたま遊びにきたフレーベル少年合唱団の子どもたちも飛入りで参加し、おもいおもいの言葉をかいた凧手づくりの凧、いろいろな型の凧など、あがり方、アイデア、デザインなどをきそいました。

なかでも、ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ビキニと一枚ずつローマ字で書いた連凧に人気集中、心なしか他の凧より高く舞い、みんなの願いを象徴しているかのようでした。「みんなで原水爆のことを学びみんなで作ったんです」と30人近い子どもたちに囲まれ楽しそうな北砂小学校の先生。このクラスは一週間前社会科の授業で第五福竜丸のことを勉強し、クラス会全員で凧あげ参加を決めたということです。この連凧は文句なく一等賞になりました。

また、細いワリバシ二本にポリ袋のキレはし、新聞紙のシッポをつけただけの工夫いっぱいの省エネ凧も意外によくあがって物価値上げ反対(?)の決意を示し、平和と大書した角凧、核兵器廃絶の五文字の連凧も風のないわりによくあがり、三井周二委員長ほか審査委員もどれにしようかと苦心さんたんでした。

久保山愛吉さんの記念碑前でおこなわれた表彰式では、歓声の中で一等から五等まで十五の入賞者に賞状と盛沢山の景品のつまった大きな袋がわたされました。たくさんの出版社、平和団体から贈られた童話、絵本、カレンダーなども参加者全員にわたされ、「今年の賞品はすごいや」とにこにこ。終って展示館を見学したり、芝生で話しあったりして、明るくにぎやかに平和を誓いあった大会でした。

賞品の提供に御協力いただいた団体はつぎのとおり。

童心社、岩崎書店、草土文化社、小学館、平凡社、新日本出版社、白石書店、同時代社、労働教育センター、東京建設従業員組合、日本平和委員会、原水爆禁止日本協議会。（写真は永井進氏ほか）

核汚染はマーシャル諸島全域におよぶ

いま私たちは何をするのか—第19回ビキニ事件を知る集いひらく

82年のアメリカの核戦略とミクロネシア——この大テーマで第19回ビキニ事件を知る集いはひらかれました。一月二十八日、日本教育会館の会場には、寒さをおして約四〇名の人々が集まり、マーシャルの島々の長い取材から帰ったばかりのカメラマン島田興生さんの講演に耳を傾けスライドに見入りました。

——原水爆実験による放射能汚染がいまなお住民と自然に深い傷跡を残すマーシャル諸島、アメリカは実験終了後も戦略ミサイル実験基地を設け軍事優先の政策をとり続け、ミクロネシアを自らの核戦略の拠点にすえている。汚染された土や機材を実験跡のクレーターに埋めこんだエニウェトク環礁ルニット島のコンクリートドームの巨大さと異様さ、さらにそれは今日核廃棄物の陸上投棄の候補地としてロンゲラップ環礁などがねらわれていることにつながっている。ビキニの東方四百キロのアイルック、リキエップ島などでは、東方二千キロのジョンストン島三千キロのクリスマス島でアメリカ、イギリスが強行した原水爆実験の影響も濃い——などなどの話に、あらためてマーシャル全域におよぶ核汚染のすさまじさと今日の状況に驚くとともに、三・一めざして国際的連帯の強化と核兵器廃絶をめざす私たちの活動の一段の前進を決意したのでした。

また、三月二日にはビキニ事件記念集会、二月二十七日からビキニ事件記念写真展をひらくことも紹介され、多くの人をさそって参加しようと話し合われました。

草の根の運動もりあげて

国民署名一万を—第47回理事会ひらく

平和協会第47回理事会が一月二五日、神田の学士会館でひらかれ、前半期の行動計画の大要などを決定しました。とりわけ第二回ＳＳＤにむけすすめられている国連に核兵器完全禁止と軍縮を要請する国民署名、三・一ビキニ事件記念の行動、原水爆資料室募金運動の三つを運動の重点とし、署名は展示館見学者をはじめ広く訴えて一万名をめざすこと、三月二日、国労会館で平和協会主催の三・一ビキニ事件記念集会をひらくこと、資料室募金は三月いっぱいとりくみを強め四月には準備室の開設をめざすことになりました。

また、江東区内の広汎な人びとによる三・一〇下町大空襲展への協力、長崎市の花あじさいを展示館前に植樹する計画なども話しあわれました。

国民署名の用紙は、平和協会の名前を印刷して大量にできあがり、館内での署名はいま六百名近くにのぼっています。

ビキニ水爆実験被災28周年

3・1ビキニ事件記念集会

とき　3月2日(火)午後6時
ところ　国鉄労働会館ホール

主催　財団法人 第五福竜丸平和協会

■記念講演
太平洋非核化と3・1ビキニ事件
立教大学助教授　服部　学

●主催者あいさつ
平和協会会長　三宅泰雄
●3・10下町大空襲展の許へ
実行委事務局長　永井和子

フィルム上映
第五福竜丸―焼津・東京

●ビキニ事件記念写真展
2月27日～3月7日
被災28年目のマーシャル諸島の写真を中心に

三・一〇下町大空襲展に協力

平和協会も参加・準備活動すすむ

詩人の永井和子さん、映画監督の木村荘十二さんほか江東区在住の広範な人びとのよびかけによって「三・一〇下町大空襲展」の実行委員会が一月二六日発足。平和協会も協力して展覧会の準備がはじまりました。

江東空襲の慰霊碑をつくる会を中心とした区民の十年来の願いがかなってこの三月十日、江東区役所に「母子像・希」が建立されるのを機に、ふたたびこの悲惨さをくりかえすまいの願いをこめてひらかれるもので三月九日から一週間、江東区民センターで大々的に行われます。

東京大空襲のいくつかのパネルのほか、原水爆、広島・長崎の写真も展示される予定で、当時の資料も盛沢山です。

◇　◇

元日、記念碑前で集会ひらく

一月一日、展示館も休館。しかし展示館前で、群衆の渦の青年たち約20人が記念集会。核廃絶への誓いを久保山愛吉さんの記念碑にあらたにしたそうです。

日本青年団協議会
会長　城吉信
東京都新宿区霞丘町十五
日本青年館内　電話〇三四〇一-〇一〇一

来館者の声から

第五福竜丸の声が聞こえてくる思いで胸がいっぱいです。絶対にあってはならないことが続いていることに対して、許してはならない人間としての思いでいっぱいです。

三橋栄子

＊

ビキニの実験でロンゲリックにいたアメリカ人観測兵は死んでいない！それなのに他の島の人々には……。大国のエゴがそのままでいて、ただ核のこわさを知っただけではなかった。

井上　充

＊

ここにははじめてきました。先生にいろいろと聞いていたけどこんなにひどいとはおもえませんでした。いまでも苦しみながら生きているなんてとても残こくです。生きていることがこんなに大切だとは思えませんでした。一日一日を大切にすごしたいと思います。

北砂小・田島、佐藤、内山

＊

このような形で被爆した物が後世に受け継がれることは非常によいことであると思われ、関係者各位の御努力に感謝いたします。誠に勝手なことを述べますが、この展示の意味が、現在、将来にわたっての原水爆禁止であるとすれば、なぜ禁止せねばならないのか、どのようにあぶないのか、放射線および放射能（放射能物質）はどんなものであるのかという点で訴える強さが感ぜられず、お涙ちょうだい的な展示であるように思われ、少々残念でした。

斉藤　実

＊

中性子爆弾とはおそろしいものだということがはっきりわかった！

めんたん

＊

福竜丸を初めて見て大きいのにびっくり。子ども（九才・六才）二人も見て感心するばかりとても勉強になりました。

＊

世界の人に見ていただきたい。そして事実を知ってほしい。

K&A

＊

久しぶりに第五福竜丸を見た。時々ここにきて原水爆にたいする気持を洗い直したい。

＊

今日ほど生きてゆくことのつらさでむかえた正月はありませんでした。人間が傷つけあうことのみにくさを、ほんの一部ですがこの目でみたことは、いままで生きてきたことの中で一瞬のきらめきのように思えました。今後、人間を愛しあう気持をそこなわぬようおしえられた気持です。

寺本明仁

第二回国連軍縮特別総会へ核兵器の完全禁止と軍縮を要請する国民署名の署名用紙（第五福竜丸平和協会の名前を印刷したもの）が出来あがりました。御活用下さい。

編集後記

▽去る一月末に広島でひらかれた教育研究全国集会は全国からの一万四千人の教師たちによって熱気あふれるものとなりました。

▽この集会は、「ヒロシマの心を世界に」のスローガンのもとにひらかれたとおり、平和と戦争反対を最大の課題としてひらかれた点に、画期的なものがあったと思います。

▽その集会の主催者や参加教師のなかに、夢の島の展示館を訪れたことや「船を見つめた瞳」を読んだことのない人があったらと心配になりましたが、現実はどうでしょうか。

▽教研集会とか平和教育に関係ある諸集会で、第五福竜丸展示館が余り問題にならないことは、一体どこに原因があるのでしょうか。平和協会の悩みはつきません。

▽それでも、学童・生徒の団体見学がふえています。（日）